

文化の継承

今、NHKで「文化の伝承」という番組が放映されています。お年寄りが、若い者・子供達へと昔ながらの地域文化を語り伝え、実演しながら伝える様子を集録したものです。

地域文化は、その地方の冠婚葬祭を基にして家内安全・無病息災・子孫繁栄・商売繁盛などの願いが象形されたものと考えます。さて昨年暮れ、大津島の伝承文化であります、馬島地区の平家踊り・本浦地区の長持ち唄を徳山の街及び文化会館で披露する機会がありました折、その一員として参加いたしました。

見物の観衆から大喝采を浴び少々照れながらも誇らしく思った次第です。この時感じたことですが、若い人達の参加が少ないように思いました。新しい島内行事も多く行われるようになりました。若い人達が文化を受け継ぐ・創ってゆくことに積極的に参加する勇気と行動が必要ではないでしょうか。 N・T生

友愛訪問員・民生委員研修会

1月30日(火)ふれあいセンターにおいて、友愛訪問員・民生委員等を中心に、市社協の有馬業務係長を講師に招いて「ささえあうまちづくり」について学びました。その中でこれからは、一人暮らしの人(高齢者)、各自が小地域(家庭等)で自主的に集う“場(昼食会等)”の創造、ふれあうことにより互いの安否確認が出来る・常に交流の機会を持った生活を送れるよう地域で手助けをすることが求められるようになるだろうと話されました。



消火活動のお礼

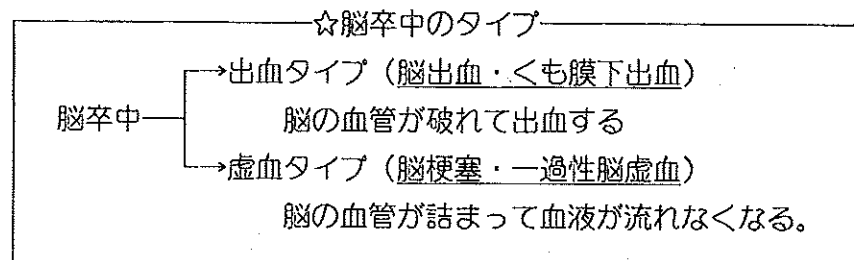
先日発生した、三つ石地区山林火災に際しましては、馬島・大津分団、婦人消防隊の出動と共に、一般の方々が火災発生直後から消火活動に多大なご協力をして下さったことにより、付近の住宅などへの類焼・けが人もなく短時間の内に鎮火させることが出来ました。皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。

馬島分団長 古城又男 大津分団長 赤瀬金道

健康ひとくちメモ～脳卒中の前ぶれ～

大津島担当保健婦 原田彰子

脳卒中による死亡数は減少してきているものの、患者さんの数は減ってはいないようです。そこで今回は脳卒中の前ぶれについてご説明しましょう。



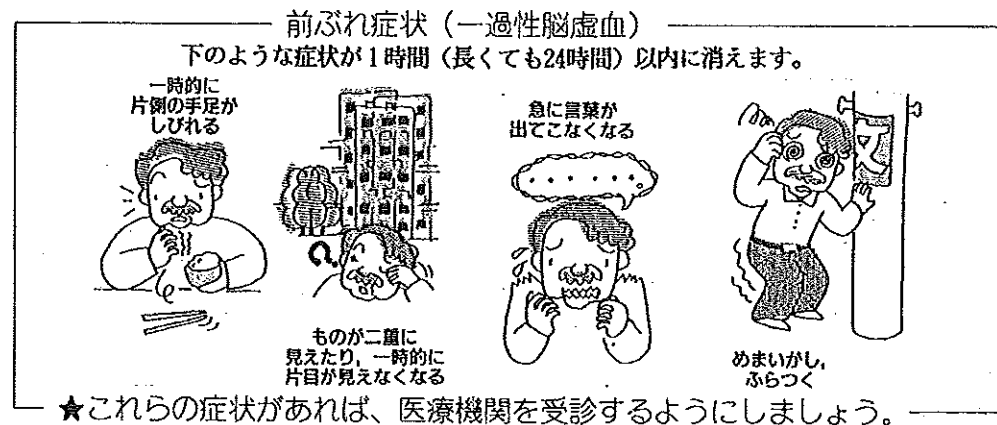
最近では高血圧の患者さんの血圧コントロールがなされるようになり、脳卒中のうち重い脳出血が減って、脳梗塞や軽い脳出血が増えてきました。このため、後遺症になやまされている人はむしろ増えているようです。脳卒中の発作を未然に防ぐためにも、その前ぶれを知っておくことは大切です。

①「高血圧症・糖尿病・高脂血症・肥満など」の動脈硬化を進めやすくする病気や心臓疾患を予防しましょう。(既に病気がある方は上手くコントロールする。)

※心臓疾患があると心臓に血栓ができやすく、それが脳の血管に流れてきて詰まることがあるため。

②一時的な手足のしびれや言語障害は脳卒中のサイン。

※脳血管が一時的に詰まるために起こる、一過性脳虚血は脳卒中の重要な前ぶれ症状のひとつ。



③血圧の管理が第一。また水分補給にも心掛けましょう。塩分や脂肪の取りすぎを避け、血圧降下剤を処方されている場合はきちんと飲むようにしましょう。

高齢者は水分不足に陥りやすいので、特に水分の補給にも心掛けましょう。